

トピックス

TOPICS 1

当社の主力製品（スキャナー製品、CB製品）が堅調に推移

当社の製品中、高利益率を誇るスキャナー製品、CB製品が昨年に引き続き北米でのマーケットシェアを堅調に伸ばしています。

スキャナー製品は、新しい通信方式に対応した新製品拡充によりラインナップを強化し、売上が前期比7%増となり北米の市場シェアは86%となりました。

CB製品はトラックストップ向けのプロモーションとトラックドライバー向けのラジオコマーシャルの相乗効果で売上が前期比30%増と、大幅に拡大しております。



BCD996P2/デジタルスキャナー



PRO401HH/ポータブルCB

TOPICS 2

新規事業、不動産事業の拡大

新規事業として着手し、売買・仲介手数料・リーシング・駐車場ビジネスを中心に順調に業績を拡大しております。

第50期においては、大型物件の成約、賃料収入の増加により、大幅な増収となっております。(当期売上高17億円 前期1億円)

引き続き、ユニデングループの一員として積極的に事業を拡大してまいります。



会社概要 (2015年3月31日現在)

会社名	ユニデン株式会社 Uniden Corporation
設立	1966年(昭和41年)2月7日
資本金	359億99百万円
本社住所	〒104-8512 東京都中央区八丁堀2-12-7
社員数	76人
グループ社員数	1,380人
拠点数	海外12社・7カ国・7拠点

取締役および監査役 (2015年6月26日現在)

代表取締役会長兼社長	藤本 秀朗	取締役	金城 一樹
常務取締役	早 寄 英二	取締役	金子 洋史
常務取締役	石井 邦尚	取締役	志記 壮一郎
常務取締役	藤代 雅之	取締役	菊本 正司
取締役	西川 健之	常勤監査役	佐藤 宗生
取締役	内藤 英夫	監査役	黒田 克司
取締役	星久木 淳	監査役	藤本 節雄
取締役	饗場 俊之	監査役	南 惟孝

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
	その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
公告掲載URL	http://www.uniden.co.jp/ir/library.html ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。
株主名簿管理人・特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人<三菱UFJ信託銀行>ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

【単元未満株式の買取について】

1,000株未満(単元未満)の株式は市場で売買することはできませんが、所定の用紙で買取のご請求をいただくことにより、時価で当社にご売却いただくことができます。お取引口座のある証券会社にお申し出ください。

Uniden®

ユニデン株式会社

Business Report 2015

2015年3月期 株主通信

2014.4.1 ▶ 2015.3.31

株主の皆様へ

平素はユニデングループに格別のご支援を賜り、篤く御礼申し上げます。

当期の世界経済は、当期後半における原油価格の急落や、中東をはじめとした国際情勢の不安定化を背景に、景気動向は総じて足踏み状態となりました。米国では緩やかな景気拡大が続きましたが、ドル高による輸出競争力の低下や原油安による石油産業の生産調整の動きにより、先行き不透明感が強まりました。欧州におきましては、緩やかな景気回復が持続したものの、企業業績にやや不透明感があり、内需の伸び悩みにより低成長で推移いたしました。中国ではこれまで経済成長の牽引役を果たしてきた設備投資の伸びが鈍化し、景気の減速傾向を強めました。

一方、わが国経済では、企業収益の改善が見られるなど、緩やかな回復基調が継続しているものの、個人消費においては、消費税増税の影響等による回復の遅れがあるなど、依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような環境の中、当社グループでは、採算性重視の経営方針を押し進め、収益化を目標としてまいりました。主力の無線通信・応用機器部門につきましては、北米市場や欧州市場において、CB無線機器の更なる市場シェアの拡大が進みました。しかしながら、Video Surveillance(ワイヤレスカメラ・モニター)につきましては、北米市場での需要が頭打ちとなり伸び悩みました。一方、不動産事業においては、物件の売買取扱金額が大幅に増加し、賃貸取引も順調に推移したことにより、当社グループ収益確保への柱となるべく、順調に拡大しております。

株主の皆様におかれましては、引き続き力強いご支援を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

2015年6月

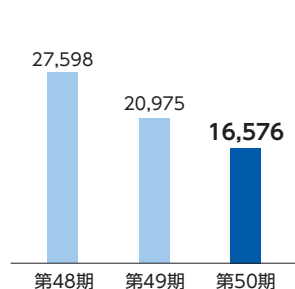
代表取締役会長兼社長 藤本 秀朗

決算ハイライト

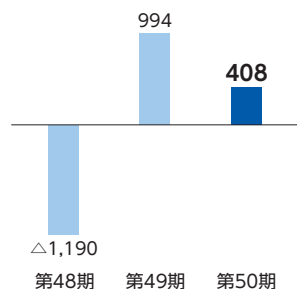
■ 連結財務データ

	第48期	第49期	第50期	第51期 (予想)
売上高 (百万円)	27,598	20,975	16,576	23,300
営業利益 (百万円)	△1,190	994	408	1,450
売上高営業利益率 (%)	△4.3	4.7	2.5	-
経常利益 (百万円)	△731	980	516	1,410
当期純利益 (百万円)	△2,658	593	404	930
1株当たり当期純利益 (円)	△45.14	10.06	6.86	15.80
総資産 (百万円)	36,376	36,130	36,962	-
純資産 (百万円)	30,451	31,129	31,515	-
1株当たり純資産 (円)	517.18	528.78	535.47	-

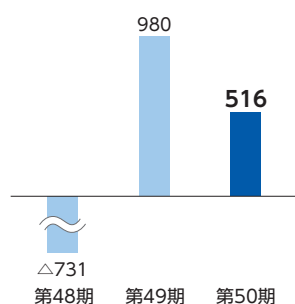
■ 売上高 (百万円)



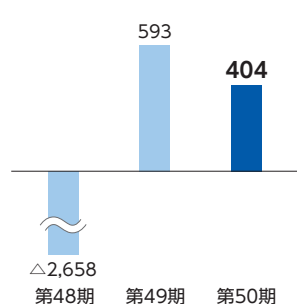
■ 営業損益 (百万円)



■ 経常損益 (百万円)



■ 当期純損益 (百万円)



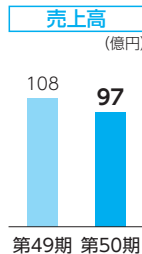
部門別売上高

エレクトロニクス事業

売上高 **146**億円

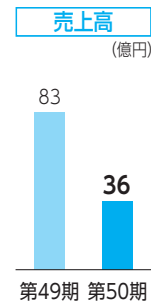
■ 無線通信・応用機器部門

売上高 **97**億円 (前期比 10.1%減)
 当部門では、欧州市場や北米市場におけるCB無線機器の販売数量が好調に推移し売上台数43万台 (前期比29.2%増)、売上高1,544百万円 (同31.0%増) となりました。
 Video Surveillance (ワイヤレスカメラ・モニター) は、好調であった前期の反動により、販売台数の落ち込みが見られました。また、採算性を重視し販売モデルを厳選したことにより、当部門全体では売上台数133万台 (前期比11.2%減)、売上高9,717百万円 (同10.1%減) となりました。



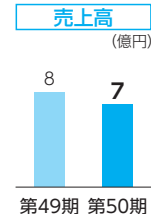
■ 電話関連機器部門

売上高 **36**億円 (前期比 56.0%減)
 当部門では、北米市場において、ビジネスフォンの販売数量が好調に推移いたしました。しかし、不採算事業の縮小により、特に主要カテゴリであるコードレス電話の販売数量が減少しました。当部門全体では売上台数103万台 (前期比67.5%減)、売上高3,683百万円 (同56.0%減) となりました。

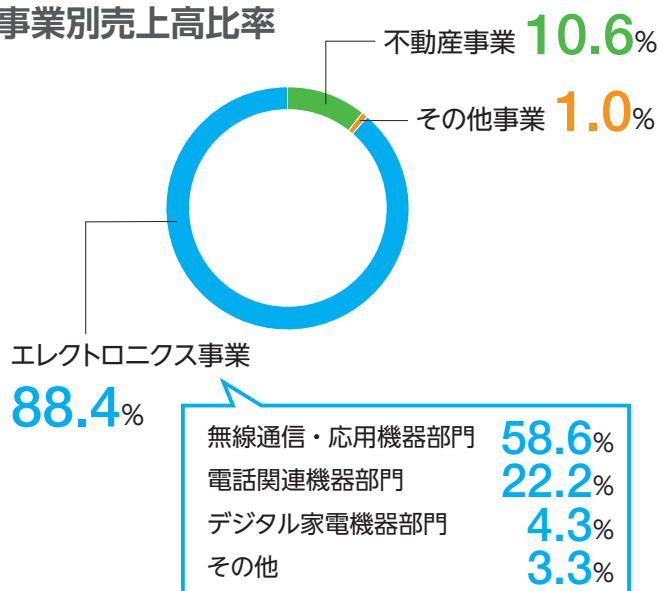


■ デジタル家電機器部門

売上高 **7**億円 (前期比 11.5%減)
 当部門では、採算性を重視した結果、販売モデルを厳選したことにより、国内市場において、地上デジタルチューナーの販売台数が減少いたしました。その結果、当部門全体では、売上台数6万台 (前期比41.7%減)、売上高710百万円 (同11.5%減) となりました。



事業別売上高比率



不動産事業

売上高 **17**億円

当事業では、大型物件の販売数が増加し、また、賃貸売り上げが順調に推移したことにより、売上高1,764百万円 (前年同期は117百万円) と、大幅な増収となりました。



さらに詳しい決算情報は、当社IRサイトをご覧ください。

ユニデン IR

検索